

# 第60回 埼玉県保育研究大会 開催要綱

## 1 主 題

～すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現をめざして～

## 2 趣 旨

保育を取り巻く環境を始め、昨今の子ども、子育て家庭に関わる状況等も大きく変わろうとしています。

急速に進む少子化、家族機能の低下、子どもの貧困、児童虐待等々、枚挙にいとまがありません。そしてそれらは、保育現場にとって子どもへの対応だけでは不十分であり、保護者への対応と支援のためのスキルアップも求められます。

国では令和5年4月に「こども家庭庁」が発足し、「こども基本法」が施行、令和6年度には改正児童福祉法も施行されました。保育所・認定こども園が地域において相談機能を発揮する「かかりつけ相談機関」としての役割が求められるなど、期待も大きく保育所・認定こども園等が担っていく機能・役割の更なる変化も想定されます。

このような中で、保育所・認定こども園等は、各々の特色を大切にしつつ、関係機関等との連携のもと、等しく質の高い保育の実践とともにその専門性を地域で活かしていくことが求められます。そのため保育関係者は、様々な制度動向や求められる役割・責務を適切に理解し、養護と教育の実践のもと、これまで培ってきた保育の営みの大切さを広く社会と共有し、実現していく必要があります。

本大会は、こうした保育をめぐる情勢をふまえ、全ての子どもの最善の利益の保障に向け、テーマごとに保育の社会的意義と役割、保育実践などについて議論を深め、今後の保育の質・専門性の向上に寄与することを目的に開催します。

## 3 主 催 (予定)

埼玉県 吉川市

社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 埼玉県保育協議会 埼玉県保育士会

## 4 後 援 (予定)

社会福祉法人吉川市社会福祉協議会

## 5 期 日

令和6年5月24日 (金)

## 6 会 場 ※会場案内図参照

①吉川市中央公民館 (全体会・分科会)

〒342-0041 吉川市大字保 577 番地 電話 048-981-1231

JR 武蔵野線「吉川駅」北口から徒歩 15 分またはバス 3 分

②市民交流センター「おあしす」(第2分科会)

〒342-0058 吉川市きよみ野 1 丁目 1 番地 電話 048-984-1888

JR 武蔵野線「吉川駅」北口からバス 15 分

※第2分科会の会場は②市民交流センター「おあしす」です。その他の分科会は①吉川市中央公民館です。

## 7 参加者

- (1) 公私立保育所(園)長 (2) 市町村保育行政担当者 (3) 保育士、その他の職員  
(4) 保護者会関係者 (5) 保育士養成機関関係者 (6) 学校教育関係者

## 8 日程

- 9:10 受付開始(各分科会場ごと)  
9:30 分科会 開会  
↓  
12:10 分科会 閉会  
※ 昼食・移動  
13:30 全体会 開会  
13:45 式典  
※ 永年勤続者表彰 ほか  
14:30 記念講演  
↓  
16:15 全体会 閉会

○ 保育実践パネル展示

○ 保育関係業者ブース

※ 全体会会場ホワイエにて

## 9 内容

### (1) 記念講演

講師:

株式会社 サクラサク研究所 代表取締役

玉川大学教育学部 教授

おおまめうだ ひろとも  
大豆生田 啓友 氏

テーマ: 「こどもまんなか社会」時代の保育



#### \* 講師プロフィール \*

青山学院大学大学院文学研究科教育学専攻修了後、青山学院幼稚園教諭等を経て、現職

**社会的活動:** 日本保育学会理事、日本こども環境学会理事、こども家庭庁「こども家庭審議会」委員および「幼児期までのこどもの育ち部会」委員(部会長代理)、文部科学省「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会」委員、文部科学省「幼保小の接続期の教育の質的向上に関する検討チーム」委員(2023年3月まで)、厚生労働省「保育所等における保育の質の確保と向上に関する検討会」委員(座長代理、2021年3月まで)、よこはま☆保育・教育宣言運用協議会委員、yahoo japan 公式コメンテーター、NHK・Eテレ「すくすく子育て」出演、テレビ静岡「テレビ寺子屋」出演、等

**著書:** 『SDGs時代の保育実践アイデア帳』(共著、フレーベル館、2023)・『子どもが中心の「共主体」の保育へ』(監修、小学館、2023) 他多数

## (2) 分科会 討議

### 第1分科会 保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する

意見発表者：川口市立あさひ保育所 主査 八重垣 千恵子 氏

助言者：昭和女子大学 人間社会学部 福祉社会学科 准教授 山梨 みほ 氏

保育所・認定こども園等における今日的状況として、職員の就業形態や雇用形態の多様化とともに働き方改革がすすめられています。職員間の連携、チームワークの形成や、職場全体としてのスキルアップとともに、働きやすい職場づくりに一層留意する必要があります。

子ども・子育て支援制度施行後、多様化する利用者のニーズに対応するとともに、保育現場の魅力を発信しながら、人材の確保・育成に努めていく必要があります。本テーマでは、保育所・認定こども園等の内外の研修や情報共有のあり方、保育者の自己評価など、職員の資質向上にむけた効果的な実践と保育現場の魅力発信の取り組み、さらには保育現場に求められる働きやすく、やりがいのある職場づくりについて研究を深めます。

### 第2分科会 子どものより良い育ちと安全・安心の環境づくりにむけた関係機関とのネットワーク

意見発表者：むさしの森保育園（狭山市） 園長 大野 沙織 氏

助言者：株式会社ピスタ 代表取締役 細萱 大輔 氏

子どものより良い育ちにむけ、保育所・認定こども園等、小学校さらに中学校との連携は、子ども一人ひとりの成長を連続的にとらえる視点として重要です。

また、子ども・子育て制度では各市町村で策定された「子ども・子育て支援事業計画（都道府県においては子ども・子育て支援事業支援計画）」に基づき事業実施が行われ、各地域の保育施策の充実化にむけては、社会福祉法人をはじめとする保育・子育て支援関係者と各地域の行政機関等との連携や、信頼関係の構築もいっそう大切となります。

さらには、子どもの貧困に起因する課題への対応、児童虐待予防、病児・病後児保育、さらには災害対応など、保育所・認定こども園等単体のみならず、地域の関係各機関と連携・協働をもってすすめるべき取り組みは多くあります。

本テーマでは、子どものより良い育ちにむけた、多様な機関との連携・協働のすすめ方や保育所・認定こども園等が果たすべき役割などについて研究を深めます。

※第2分科会の会場は土足厳禁ですので、スリッパ等をご持参ください。

※第2分科会会場から全体会会場の移動には、シャトルバス（無料）を用意いたします。参加申込の際には「シャトルバスを利用する」「シャトルバスは利用しない」どちらかを必ず選択してくださるようお願いいたします。

※定員60名（先着順）

### 第3分科会 新たな時代の保育実践～すべての子どもにむけて～

意見発表者：ふくろうの森保育園（鴻巣市） 園長 吉岡 伸太郎 氏

助言者：国際学院埼玉短期大学 学長特別補佐 櫻井 康博 氏

子ども・子育て支援新制度では、「保育の必要性（の認定）」に基づいて、保育が提供されま

す。  
また、幼児期の教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するとの子ども・子育て支援法の趣旨から、認定こども園制度を改め、学校及び児童福祉施設としての法的位置づけをあわせ持つ新たな幼保連携型認定こども園が創設されました。

保育所は、これまで保育所保育指針に基づき、児童福祉施設として、各保育所における創意工夫のもと、保育実践をすすめてきました。認定こども園では、保育所保育指針を踏まえた「認定こども園教育・保育要領」に基づき、保育が展開されます。

本テーマでは上記実践のもと、子ども一人ひとりの健やかな育ちを保障し、保育の質を向上していくための手法や、さらに今後の保育をめぐる動きのなかで大切にすべき保育実践の視点について研究を深めます。

### 第4分科会 テーマ：保育で使える楽しい造形・製作 ～領域における「表現」の視点からの製作～

意見発表者：桜ヶ丘保育園（深谷市） 副主任保育士 足立 泰子 氏

助言者：立正大学 社会福祉学部子ども教育福祉学科 准教授 山田 修平 氏

保育所保育指針における5領域の「表現」とは、子どもの感じたことを自分なりに表現をすることで、子どもの感性や表現力を豊かにし、創造性を育てていくことを目的としております。その視点から、保育に欠かすことのできない「製作」遊びについて考えていきます。

「製作」遊びは、様々な素材や道具を実際に触れる感覚やモノを作り上げる経験を通して、達成感や充実感を得たり、また季節や行事に関する製作では四季や文化を感じたり、共同での製作では他者との協力する楽しさや協調性など、子どもの様々な感性や創造性を育むことに繋がります。

本テーマでは「製作」遊びの実践を通して、楽しく学んで遊んで、領域における「表現」の視点からの専門性をもった遊びの展開として研究を深めます。

## 10 参加費（資料代等）

会 員…1人 2,000円 / 非会員…1人 4,000円

学 生…無料（学生証の提示を求める場合があります。）

※参加に要する旅費等は、派遣者において負担願います。

※昼食の斡旋はありません。各自で御用意くださるようお願いいたします。

## 11 参加申込み方法

- (1) 申込受付期間：令和6年4月5日（金）午前9時～4月26日（金）
- (2) 下記の申込サイトからお申込み手続きをお願いします。  
※本サイトは主催者が取りまとめ・参加費徴収の事務を委託する業者で作成されたページです。

### 申込サイトURL

<https://www.mwt-mice.com/events/saitama-hoiku60>



QRコードからも申し込めます

### 【埼玉県保育協議会ホームページURL】

<https://www.fukushi-saitama.or.jp/saitama13/shubetsu/page3.html>

HP内に掲載される「第60回埼玉県保育研究大会申込み」バナーからもお申込みいただけます。

- (3) 申込内容入力完了後、登録されたメールアドレス宛に自動の「申込受付完了メール」が届きます。「申込完了メール」が届かない場合、迷惑メールフォルダに未着なことを御確認の上、名鉄観光サービスまで必ず御連絡してください。
- (4) 請求書は郵送いたしますので、期限までにお振込みをお願いいたします。入金後の返金ではできかねますので、予め御了承ください。  
振込期日：令和6年5月17日（金）
- (5) 参加券は、ご登録頂いたWEBサイトより「予約内容確認書」をダウンロードし、当日必ずご持参いただき、受付に提出してください。

## 12 お問い合わせ先

- (1) 開催内容について  
埼玉県保育協議会事務局（埼玉県社会福祉協議会 施設業務課 岩崎・森田）  
〒330-8529 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65  
電話：048-822-1467（ダイヤルイン） FAX：048-822-3078  
E-Mail：[saihokyo@fukushi-saitama.or.jp](mailto:saihokyo@fukushi-saitama.or.jp)
- (2) 参加申込みについて  
名鉄観光サービス株式会社 さいたま支店  
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-333-13 大同生命さいたま大宮ビル13階  
電話：048-641-5388 FAX：048-641-5287 担当：本図（もとず）

## 会場案内図



### 会場① 吉川市中央公民館

〒342-0041 吉川市大字保577番地 電話 048-981-1231  
JR 武蔵野線「吉川駅」北口から徒歩15分又はバス3分

### 会場② 市民交流センター「おあしす」

〒342-0058 吉川市きよみ野1丁目1番地 電話 048-984-1888  
JR 武蔵野線「吉川駅」北口からバス15分 2路線

※会場の駐車場の数には限りがありますので、予めご了承ください。